

全国学力・学習状況調査 東浦町の調査結果について

令和5年度全国学力・学習状況調査 東浦町の調査結果について

令和5年4月18日（火）に実施された全国学力・学習状況調査について、東浦町の調査結果の概要、及び調査結果を踏まえた改善策をお知らせします。

1. これまでの経過

4月 18日（火）	令和5年度 全国学力・学習状況調査の実施
9月 4日（月）～	個人結果の配布
9月 4日（月）～	町内各小中学校にて調査結果の分析と改善策検討
11月 13日（月）	定例教育委員会にて調査結果を踏まえた改善策検討
12月 21日（木）	調査結果の町HP掲載

2. 全国学力・学習状況調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 取組を通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

3. 東浦町対象児童生徒数

- 小学校第6学年児童 426名
- 中学校第3学年生徒 412名

4. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

それぞれ次の(ア)と(イ)を一体的に出題

- (ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- (イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

5. 教科に関する調査の結果

○小学校では以下のような結果が見られた。

【国語】愛知県の平均正答率・全国の平均正答率ともにやや低い結果が見られた。

【算数】愛知県の平均正答率・全国の平均正答率ともにやや低い結果が見られた。

○中学校では以下のような結果が見られた。

【国語】愛知県の平均正答率・全国の平均正答率ともにやや低い結果が見られた。

【数学】愛知県の平均正答率よりやや低い・全国の平均正答率とほぼ同じ結果が見られた。

【英語】愛知県の平均正答率とほぼ同じ・全国の平均正答率よりやや高い結果が見られた。

本町での(※)よい傾向や課題、結果、及び問題(一例)については以下のとおりです。

(※):全国平均正答率を5%以上、上回るもの(○)と下回るもの(●)

(1) 小学校

○国語

「情報の扱い方に関する事項」「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」に特に課題が見られました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「C 読むこと」については全国の平均正答率よりやや低い結果が見られました。

●「情報の扱い方に関する事項」に関する問題(一例)

・原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。

(下線部の関係として適切なものを選択する)

・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる

(情報をどのように整理しているかについて、説明が適切なものを選択する)

●「A 話すこと・聞くこと」に関する問題(一例)

・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえることができるかどうかをみる。

(質問した理由として適切なものを選択する)

●「B 書くこと」に関する問題(一例)

・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

(文章の空欄に問題点と解決方法を書く)

○算数

「A 数と計算」「B 図形」「C 変化と関係」「D データの活用」に特に課題が見られました。

●「A 数と計算」に関する問題(一例)

・()を用いた式や、加法や乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる。

(長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ)

●「B 図形」に関する問題(一例)

- ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

(二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く)

●「C 変化と関係」に関する問題(一例)

- ・百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる。

(示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ)

●「D データの活用」に関する問題(一例)

- ・示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせた棒グラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

(二つのグラフから30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く)

(2) 中学校

○国語

「C 読むこと」については、全国の平均正答率よりやや低い結果が見られました。その他の領域においては、全国の平均正答率とほぼ同じ結果が見られました。

「C 読むこと」に関する問題(一例)

- ・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。

(自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く)

○数学

「B 図形」「C 関数」については、全国の平均正答率より高い結果が見られました。その他の領域においては、全国の平均正答率とほぼ同じ結果が見られました。

「B 図形」に関する問題(一例)

- ・条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる。

(二等辺三角形ではない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式をかく)

「C 関数」に関する問題(一例)

- ・反比例の意味を理解しているかどうかをみる。

(y が x に反比例し、比例定数が3のとき、 x の値とそれに対応する y の値を選ぶ)

○英語

全ての領域においては、全国の正答率よりやや高い結果が見られました。

○「(1)聞くこと」に関する問題(一例)

- ・情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。

(買い物場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する)

○「(2)読むこと」に関する問題(一例)

- ・社会的な問題について、短い文章の要点をとらえることができるかどうかをみる。
(ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する)

○「(5)書くこと」に関する問題(一例)

- ・「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる。
(メールの英文を依頼する表現に書き換える)

6. 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果

学習状況(学習意欲・学習方法・学習環境等)について、全国及び愛知県と比較してよい傾向や改善を図りたい項目は以下のとおりです。

(1)よい傾向

- 朝食を毎日食べていた割合が高い。(小学校・中学校)
- 将来の夢や目標をもっている割合が高い。(小学校)
- 友達と協力するのは楽しいと思う割合が高い。(小学校)
- 人が困っているときは、進んで助けていると思う割合が高い。(小学校)
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている割合が高い。(中学校)
- 学校の授業時間以外に、1日当たりの勉強時間が1時間未満の割合が低い。(学習塾や家庭教師を含む)(中学校)
- 普段(月曜日から金曜日)、平均して4日以上学校の部活動に参加している割合が高い。(中学校)
- 前年度受けた授業で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために使用する割合が高い。(小・中学校)
- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思う割合が高い。(中学校)
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う割合が高い。(中学校)
- 国語の勉強が好きだと思う割合が高い。(中学校)
- 数学の授業の内容がよく分かると思う割合が高い。(中学校)
- 英語の勉強が好きだったり、英語の勉強は大切だと思ったりする割合が高い。(小学校・中学校)
- 英語の授業の内容がよく分かると思う割合が高い。(中学校)
- これまで学校の授業以外で、英語を使う機会があったと思う割合が高い。(小学校)

(2)改善を図りたい項目

- 毎日、同じぐらいの時間に起きたり寝たりする割合が低い。(中学校)
- 自分にはよいところがあると思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 先生は、よいところを認めてくれていると思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 将来の夢や目標をもっている割合が低い。(中学校)
- 学校に行くのは楽しいと思う割合が低い。(中学校)
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている割合が低い。(小学校)
- 学校の授業時間以外に、1日当たりの勉強時間が1時間未満の割合が高い。(学習塾や家庭教師を含む)(小学校)
- 今住んでいる地域の行事に参加している割合が低い。(小学校)
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考える割合が低い。(小学校・中学校)
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う割合が低い。(小学校・中学校)

- 日本や住んでいる地域について、外国の人に知ってほしいと思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 前年度受けた授業では、自分の考えを発表する機会で、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う割合が低い。(小・中学校)
- 前年度受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う割合が低い。(小学校)
- 前年度受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたと思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 前年度受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間になっていたと思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う割合が低い。(小学校)
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたり、自分が努力すべきことを決めたりして取り組んでいると思う割合が低い。
(小学校・中学校)
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う割合が低い。(小学校・中学校)
- 国語の勉強が好きであったり、国語の授業の内容がよく分かっていたりする割合が低い。(小学校)
- 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていると思う割合が低い。(小学校)
- 算数の勉強が好きであったり、算数の授業の内容がよく分かっていたりする割合が低い。(小学校)
- 前年度の英語の授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動や原稿の準備なしで自分の考えや気持ちを伝え合う活動が行われていたと思う割合が低い。(中学校)
- 前年度の英語の授業では、スピーチやプレゼンテーションなどのまとまった内容を英語で表現する活動や自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う割合が低い。(中学校)
- 前年度の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語を問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う割合が低い。(中学校)
- 前年度の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思う割合が低い。(中学校)

7. 調査結果を踏まえた改善策

以上の調査結果を踏まえ、東浦町教育委員会では以下の取組を推進します。

(1) 学習意欲の向上、学習習慣の定着を図るために、授業改善を進めます。

<具体的な取組>

- ・校内外での職員研修を通して、「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現に向けて共通理解を図り、学習への達成感、満足感を得ることができる授業づくりを進めます。
- ・教育活動全体を通して自分の考えを明確にし、それを基にした話し合い・伝え合いの時間を取り入れ、考えを深めたり、広げたりすることができるような授業づくりを進めます。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をバランスよく実施できる授業づくりを進めます。
- ・多様な考え、新たな見方や考え方を受け入れ、一人一人の考えや活動のよさを認め合う授業づくりを進めます。

(2) 学校、家庭、地域が連携し、望ましい生活習慣や学習習慣の定着を図る取組を進めます。

<具体的な取組>

資料 1

- 自己肯定感を高める教師のかかわりを啓発していきます。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について連携し、望ましい使用の仕方となるよう情報モラル教室等を利用し、啓発をしよりよい家庭学習の在り方につなげます。。
- 「家庭での会話」時間づくりや「学習」時間づくりを進めるなど、児童生徒が家庭においても主体的に自らの生活習慣や学習について見直すよう、啓発をしていきます。
- ボランティア活動などに参加し、地域との連携を深めることを通して、自らの生き方について深く考えるよう、啓発していきます。